

平成 2 9 年度

## 【1】

題名	がんばってるおとうさん
本人氏名	山内 蘭 (やまうち らん)
性別	女
年齢	7
候補者との続柄	子
<p>わたしのおとうさんは、ひこうきのとぶところや、車がおるどうろをつくっているのすごいです。つくるのがむずかしそうだからかっこいいです。このまえ、おばあちゃんのいえに行くときおとうさんのかいしゃがつくったどうろをとりました。どうろをつくってくれたおかげでおばあちゃんのいえがちかくなりました。どうろがたくさんできて30ふんでおばあちゃんちにいけたらいいなとおもいます。おとうさんは、しごとでつかれているのにいっぱいあそんでくれます。ひとりでがんばっているからえらいとおもいます。しごとをがんばっているおとうさんがすごい大好きです。</p>	

## 【2】

題名	りこのパパ
本人氏名	川原 璃子 (かわはら りこ)
性別	女
年齢	7
候補者との続柄	子
<p>わたしのおとうさんは、いつもたかいやねのところでおしごとをしています。そしてわたしはこうおもいました。いつもたかいところでおしごとをしているので、がんばってるなーとおもいました。わたしは、1ばんめにすきです。わたしには、おねえちゃんといもうとがいます。おねえちゃんの名まえは、りのといいます。いもうとの名まえは、空といいます。おとうさんは、あたらしいおうちのやねとかべをはってくださいました。わたしはこうおもいました。やねとかべをはってくれるのがうれしかったです。パパは、わたしが、わからなかったときは、いつもおしえてくれます。パパはやさしいとおもいます。とても、へんなことをいったりします。パパは、いつもあそんでくれます。パパは、いつもわたしのことを、だいすきだよといってくれます。パパのことがだいすきです。</p>	

## 【3】

題名	ひでくんへ
本人氏名	藤原 瑠愛 (ふじわら るな)
性別	女
年齢	7
候補者との続柄	姪
<p>ひでくん、いつもおしごとがんばってるね。カッコいいね。しごとのふくカッコいいよ。にあってるよ。がんばってしごとしているところみたい。</p> <p>まえにおしごとおわってから、ほいくえんにおむかえにきてくれてありがとう。やさしいね。</p> <p>それで、ハンバーグたべにつれていって来て、うれしかったよ。</p> <p>いつも、るなとみくといっぱいあそんでくれるからうれしいきもち。</p> <p>また、だっこしてね。ごはんをいっぱいたべて、げんきにしごとがんばってね。</p> <p>おうえんしてます。</p> <p>ひでくんだいすき。</p> <p>るなより</p>	

## 【4】

題名	パパのお仕事
本人氏名	永岡 胡桃（ながおか くるみ）
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>私は、まずパパのいいところを言います。パパは、やさしいです。やさしいと思う理由は、遊びたいときに何度もねだると次の日がお仕事の日でも遊んでくれるところです。あともう一つあります。それは、みんなをあかるくしてくれることです。</p> <p>次は、パパのお仕事のことを言います。パパの会社に行ったときは、びっくりしました。なぜかという、あまりにもそうぞういじょうに、でかかったからです。中に入っても、広がったです。ずっとずっとおおくに行くと、エレベーターがありました。それで上に行って、そとを見るとすっごくきれいで、すっごく、高かったです。さつえいしてあるくと、となりに木みたいのがあってそこに、む中になってしまいました。次に、つかれたのできゅうけいするところに行って、やすんでいたら、パンダのようふくをきた人がきてびっくりしました。そしてパンダのかおももっていたので、りょうへいが、パンダのかおをかしてもらってかぶっていました。そして、きゅうに、パパが前にでて、しょうかいみたいなのをしたので、あまりいみがわかりませんでした。</p> <p>次のところにつくのは、はやかったです。ずっとさきにすすんでいくと、かべにらくがきができるところがあったので、わたしも、ハートをかいたり、人をかいたりして、かべにかいても、だいじょうぶなのは、とてもすごいと思いました。</p> <p>そして、そこをまがったらいっぱいきかいがあって、びっくりしました。</p> <p>次に、きかいにのって、おかしをとるのがあったのでそこに行って、ヘルメットをかぶってさいしよに、りょうへいがのって、その次に、かんちゃんのがのって、さいごにわたしがのりました。おかしのおふくろの中には、いっぱいおかしが入っていました。</p> <p>わたしは、パパの会社に行くと言ったときによろこびました。すごく、楽しかったです。きかいにのって、おかしをとるのも、おもしろかったです。また、いきたいです。</p>	

## 【5】

題名	わたしのパパ
本人氏名	稲垣 海妃 (いながき うみ)
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>わたしのパパは、ふだんしごとがいそがしくてわたしより早くおきて、夜に帰ってきます。朝早くから夜おそくまで、わたしたち家ぞくのためにはたらいているパパはすごいなと思います。</p> <p>そんないそがしいへいじつをすごしているのに、休みの日にはどこかへつれて行ってくれます。たくさんあそんでくれます。そのときはすごく楽しいですがやっぱり、しごとでいないときは、さみしいです。けど、わたしがさみしい分、おしごとをがんばってくれている、パパが大すきです。パパは、朝早くおきて、ねむくてもがまんしています。なので、わたしもパパがいなくて、さみしいけど、パパがしごとをがんばっているだけ、わたしもさみしいきもちをがまんします。けど、まだまだ子どもなわたしは、ずっとがまんなんてできないので、パパが休みの日か、どこかへつれていってくれたときは、わたしがさみしかったときのきもちの分、そういうときにパパにたくさんあまえたり、すこしくらいわがママをいってもいいかなと思います。</p> <p>パパ、いつもありがとう。そして、だいすきです。</p>	

## 【6】

題名	私のお父さん
本人氏名	水元 れいら (みずもと れいら)
性別	女
年齢	9
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは造園の仕事をしています。家では仕事の話はほとんどしてくれませんが、造園でどんな事をしているのかなと思っていました。</p> <p>マリポートにサファイア・プリンセスという外国の大きな船を見に行きました。船を見ているとお父さんが大きな木を指さして、あの木も、この場所もお父さんが仕事をしたのだといました。そこには桜島や霧島が石で造ってありました。この大きな木はアコウという木で知覧の方から夜に大きなトレーラーで運んできて大きなクレーン2台で支えながら人が20人も入れるような大きな穴を掘った中に植えたのだと教えてくれました。</p> <p>広い芝生や、大きなアコウの木や、きれいな花をみて、少しはお父さんのしている仕事の事がわかりました。</p>	

## 【7】

題名	私のおじいちゃん
本人氏名	東海林 ころろ（しょうじ ころろ）
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	孫

私のおじいちゃんは、けんせつ会社ではたらいています。そして春から秋にかけて、お米や野さいを作る農家の仕事もしています。どちらの仕事も外ではたらくので、夏の暑い日や冬の寒い日はとても大へんだと思います。

私の家はおじいちゃんの家と少しはなれています。冬の朝私が起きると、家の前の雪がきれいにかたづけられていました。お母さんに聞いたら、雪がふると、おじいちゃんが私の家の前と、近所の一人暮らしのおばあさんの家、そして自分の家の雪をかたづけてから会社に行っているんだと教えてもらいました。

ある大雨がつづいた日の夜、おじいちゃんがおそくまで帰ってこない日がありました。後で聞いたら、私たちが住んでいるところに、川の水があふれてこないように、川にいろいろなきかいを運んでいたそうです。みんなのため、町のためにすごいなと思いました。

私が友だちと遊んでいる時、土でよごれた作業服で来た事がありました。かっこわるいし、少しはずかしい気持ちになった事もありました。でも今は、私たち家族や地いきの人たちが安心して安全にらせるように仕事をしていることを知っておじいちゃんの事をじまんしたい気持ちになりました。これから、農家の仕事で、私とお姉ちゃんにできる事があればお手伝いしたいです。

おじいちゃんは、夜にお酒を飲む事が大好きなのでおばあちゃんや私たちに心配をかけないようにこれからも体に気をつけてほしいと思います。さい後に私も大きくなったらおじいちゃんをみならって、人のために役立つ仕事をしたいです。

## 【8】

題名	パパの工場見学
本人氏名	永岡 莞輔（ながおか かんすけ）
性別	男
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>ぼくは、6月21日にパパの工場見学に行きました。外から工場見るとすごく高いでした。外はすごく広いでした。工場の中は、きかいがとても多いでした。最初は、パパに車みたいな物に乗せてもらいました。乗せてもらった時うれしくてみんなで写真とったりして楽しかったです。それが終わったらエレベーターに乗って上に行きました。</p> <p>上に上がったらいろいろな食べ物があって、のみ物もあったからすごくうれしかったです。ぼくの好きな食べ物がいろいろとあってうれしくて人が話している話しもよかったです。少し遊んで少ししたらまた見学をするんですけど歩いている時に横が工事みたいなのをやってて少しせまかったです。でも横になにもなかったのほんとに工事をしてんのかなと歩きながら思ったんですけど物は少しありました。でもなんかすごいなって感じました。後は高い場所の所に行きました。</p> <p>ぼくは高い所がすごくきれいなのですごくこわかったです。みんなは、高い所は少し大じょうぶなのでみんな写真とかをいっぱいとっていました。でもぼくも少しだけ写真を取ったり下を見たりすることもあったけど、やっぱり下を見るとこわかったです。ムービーも取ったりしました。やっぱりパパの工場はもう一回行くのは、そんなできないことだからやっぱり少しは見ないとぜったいそんなをすると思ったから少し下を見ました。</p> <p>最後は、機械で上に行っておかしをくれました。その中のおかしはたくさんあってすごくうれしかったです。ぼくは、おかしが好きなのでよかったです。家に帰ったら楽しかったなと思っていました。パパは工場のしごとをやっているからすごくパパはすごいなと思っていました。ぼくも大人になったらこうゆうしごとをやるのかなと思いました。ほんとにパパはすごいと思っていました。</p>	

## 【9】

題名	私のお父さん
本人氏名	井上 麻梨香 (いのうえ まりか)
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは塗装を行う仕事をしています。お父さんは力持ちです。私が持てない様なものでも、ひょいと持ち上げてしまいます。お父さんは、建築現場で仕事をしている様ですが毎日重たい物を持っているんだろうなと思います。毎日大変だろうけど家に帰ってきて、いやな顔をせずに私の勉強を見てくれたり弟と遊んだりしてくれます。</p> <p>あまりつかれた顔を見せない負けずぎらいなお父さんだけど、本当はしんどい時もあるんだろうなと心配です。</p> <p>私が大きくなったらお父さんが働いている所を見に行ってみたいです。</p> <p>最近寒いけど体に気をつけて仕事、頑張ってください。</p>	

## 【10】

題名	がんばるお兄ちゃん
本人氏名	古崎 愛生衣 (こざき あおい)
性別	女
年齢	10
候補者との続柄	姪
<p>まさたかお兄ちゃんは、私がいつも会社遊びに行くと笑顔であいさつをしてくれます。会社では、朝早くから職人さんのお世話をしたり、その日に帰ってきたお兄さんたちの話を聞いて、明日の仕事の準備をしたりしています。若いお兄さん達にわからないところを詳しく教えていたり、そうだんにのったりしていて、まさたかお兄ちゃんはみんなのリーダーにぴったりだなあと、いつも感心して見ていました。</p> <p>昔は仕事場に直接出て壁を塗ったりしていました。テストの前には、会社の倉庫で遅くまで練習していたことをよく、覚えています。</p> <p>いつも何にでも、まじめにとり組んであきらめないし、とっつてもがんばり屋さんで、やさしいお兄ちゃんです。私もそんなふうになりたいなと思っています。</p> <p>おでかけしたときには、よくお母さんが、「ここは、まさたかお兄ちゃんが塗ったところだよ。」とか最近では、「この大きなマンションはまさたかお兄ちゃんが改修工事をしたんだよ。」などと教えてくれます。</p> <p>古いマンションがすごくきれいに生まれ変わるのを見ると私もとてもうれしい気持ちになります。</p> <p>これからもっとまさたかお兄ちゃんのがんばっている姿を見れるといいなと思います。</p> <p>そして、きれいになったお家やマンション、大きなショッピングセンターなどをもっともっとたくさん見れると、みんながよろこんでいいなと思いました。</p>	

## 【11】

題名	私たちのお父さん
本人氏名	高生加 瑞希・有紀・樹（たかおか みずき・ゆうき・いつき）
性別	3人とも女
年齢	11・9・4
候補者との続柄	子
<p>私たちのお父さんは、たんしんふにんです。一週間に一度だけ帰ってきます。時々、テレビ電話をしてたくさん笑います。土曜日の夜、帰ってくると仕事でつかれているはずなのに、私たちとたくさん遊んでくれるお父さん。そんなお父さんのお仕事は足場を組むことだと聞いたことがあります。家ではおもしろくて楽しいお父さんですが、仕事場では真けんな顔をしているのかな、と思うとなんとか少し変な感じがします。</p> <p>私たちがまだ小さいころ、一度だけお父さんの仕事場をみたことがあります。そこには、大きなきかいがたくさんあり、とてもあぶない場所のようでした。足場をつくることは、作業がスムーズに行くための大切な作業だと思います。大きなマンションの足場は、とても高いところまであるので、見上げてすごいなと思ったことがありました。高い所からおちたりしないで、気をつけて仕事をしてほしいです。</p> <p>今はたんしんふにんでお父さんとすごす時間が少なくてさみしいけれど、私たちはお父さんのことがとても大好きです。いつまでも元気で仕事をがんばってほしいです。みんなでいつもおうえんしています。</p>	

## 【12】

題名	パパの仕事とお家のパパ
本人氏名	水門 葵 (すいもん あおい)
性別	女
年齢	11
候補者との続柄	子
<p>パパの仕事は、朝早くから家を出て、大きなビルやマンションなどの現場へ行き電気工事の仕事をしています。高くてあぶない所もこわがらず電気を付けるのはすごいと思います。</p> <p>初めて、パパの作ったビルを見たときは、何ヶ月かかったのかと思いました。パパに聞くと長い現場では2年以上かかる現場もあると聞きびっくりしました。毎日、こんなことをしているなんてすごいと思いました。</p> <p>家でのパパは、いっぱい笑ったり、おこったり、ゲームをしたり、ご飯をいっしょに食べたり、お買い物に行ったりしてとても楽しいことばかりです。また、外でいっしょに遊んだり、いっしょに寝たりしています。でも、仕事でおそい時は、先に寝てしまい会えないので悲しいです。これからもパパの作った建物を見るのを、楽しみにしています。これからも仕事をがんばってほしいと思いました。</p>	

## 【13】

題名	私のお父さん
本人氏名	影山 優 (かげやま ゆう)
性別	女
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、ライト工業という会社で働いています。今回作文を頼まれるまでお父さんの会社が何をしているのか知りませんでした。崩れた山を直したり、山の補強をしたりしているらしいです。何回か出張したりしています。いつも忙しそうだし、帰って来ても疲れてよく寝ているので、体調も少し心配にもなります。でもみんなが安全で安心な社会で生きていくための大事なお仕事の一つでもあるので、私はお父さんを尊敬しています。そんなにすごい仕事なのかなと思う人もいると思います。でも地震や台風でめちゃめちゃになってしまった山や道をそのまま放っておくことはできません。いつもどおりの普通の生活が出来るように、お父さんの会社は元に戻す手助けをしています。</p>	

## 【14】

題名	お父さんがつくったじまんの橋
本人氏名	増渕 大樹(ますぶち だいじゅ)
性別	男
年齢	12
候補者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは橋を作っています。どんな仕事をしているかわしくはわかりませんが、ガスで鉄を切ったり、くっつけたり、みんなで協力して一つの大きな橋を作っていると聞きました。何度かお父さんの会社に行ったことがあります。とても広い工場の外には色々な形の橋や大きなクレーンがたくさんありました。一番奥には海があって、工場で作った大きな橋を船で運ぶと聞いてびっくりしました。</p> <p>お父さんがつくったじまんの大きな橋は、東京ゲートブリッジです。車からゲートブリッジが見えるといつも「オレが作った橋」だと言います。家族で歩いて橋をわたりましたが、高い所にあつてすごくこわかったけどとても大きく、かっこよく、スカイツリーも見えて景色が最高でした。たくさん橋の作り方を教えてくれて、少しだけ橋のことがわかりました。</p> <p>仕事の帰りがいつもおそいお父さんですが、休みの時は、バスケットボールを教えてくれたり、旅行もつれていってくれます。仕事でつかれているのに、家族のためにがんばって働いているお父さんは、ゲートブリッジと同じくらいかっこいいです。これからもケガをしないで、安全でかっこいい大きな橋をつくってね。</p>	

## 【15】

題名	ぼくから見たお父さんの仕事
本人氏名	鈴木 雅織（すずき まさよし）
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>ぼくから見たお父さんの仕事は、毎日朝早くに、家を出て、暑い日も雨の日も特に今の冬の時期は、早く家を出て、大変だなあと思います。</p> <p>でも前に、お父さんの仕事をしている所を見たことがありますが、みんなと楽しくしゃべりながら仕事を、見ると…とても楽しく仕事をしていて、お父さんの仕事は、おもしろそうだと思います。ぼくのお母さんも同じ建設業で、働いていて、二人とも、ほぼ毎日外で仕事をしていて、大変だなあとありますが、それでも楽しく仕事を出来るのは、スゴいな、と思いました。</p>	

## 【16】

題名	私の格好いい父について
本人氏名	高橋 朋也 (たかはし ともや)
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>私のお父さんは、仕事の日、大きいリュックサックとお弁当、朝食をもって仕事場へ向かいます。</p> <p>お父さんの仕事の内容について詳しくはよく分かりません。たまに疲れた顔をして帰って来ることがあります。すごく大変な仕事なのでしょう。</p> <p>お父さんは国から受けた仕事をしています。仕事の受け方は、前にお父さんに聞きましたが市場のせりのような形だと言っていました。お父さんは国の仕事にほこりを持っているようで市でも県でもない「国」に任されるのが嬉しいようです。そんなお父さんを私もほこりに思います。お父さんが車を運転していると、自分がこれまで仕事で関わった場所や建物を紹介してくれます。お父さんが町の風景を作っていると思うとすごく嬉しいです。</p> <p>私は去年の四月に始めた部活動に毎日取りくんでいます。「やりたくないなー」と思うことがよくあります。ですが大人の仕事の方が大変だと気持ちを切りかえます。お父さんは朝から夕方遅くまで家族を養うために働いてくれています。場合によっては、夜に電話がかかってきて出勤することもあります。なのでお父さんはもっと大変だと思います。私は、若いころのお父さんの写真を見たことがあります。今は真っ黒で日焼けしているのに、写真のお父さんは黒く焼けてはいませんでした。外で日ざしにあたりながらも仕事をがんばっている証拠だと思います。なのでお父さんを探す時はすごく分かりやすいです。</p> <p>お父さんはたまに仕事で使っている道具の手入れをします。私にはどうやって使うか全くわからない道具を大事に手入れします。そんなお父さんを見ていると格好いいなと思います。</p> <p>そんなお父さんは、つい最近タバコから電子タバコに変えました。本当にホッとしました。これからは肺も大事にして仕事を続けて欲しいです。</p>	

## 【17】

題名	僕のお父さん
本人氏名	石黒 康太 (いしくろ こうた)
性別	男
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>僕の父の仕事は、道路などの舗装や除雪です。毎日朝早くから職場に出勤し、夜遅くに家に帰宅します。僕は実際に父の仕事をする姿を見たことはありませんが、夜遅くに帰宅する父を見ていると、とても疲れていて仕事の大変さが父から伝わってきます。</p> <p>時々土日にも仕事がある父とは、家族で旅行に行ったことはありません。僕が低学年の頃は、「学校のみんなは旅行にいっぱい行っているから、僕も旅行に行きたいな。」とと思っていましたが、僕が成長していくにつれ、「いつもお父さんが、家族のために頑張って働いているから、旅行は我慢しよう。」と思うことができるようになりました。</p> <p>冬は特に、除雪で夜中に家を出て、夜勤をして朝に帰ってきます。僕の通う小学校の通学路を小学生が安全に登下校しやすいように除雪してくれます。</p> <p>そのような父を見て、体をこわしそうで、とても心配になります。お父さん、体を大事にしてこれからも仕事を頑張ってください。</p>	

## 【18】

題名	かくれた仕事
本人氏名	原 美月（はら みつき）
性別	女
年齢	13
候補者との続柄	子
<p>私の父は、電気工事士だ。父は、室内で電気が使えるように、電柱から電気を配っている。私達がより暮らしやすくするために父は仕事をしている。</p> <p>私は、そんな父が好きだ。人のためにがんばって仕事をしている。それに電話がかかってくるときは、いやな顔一つせず、仕事にけん命に向かっている。そして、困っている人によりそうようにして電話をしている。</p> <p>だが、私は、現場で働いている父を見たことがない。どのようなことをしているのか、どんなことに気をつけているのかを一度は実際に見てみたいと思う。だが、どれほど、大変なのかは、私達、家族が一番知っていると思う。家に父が帰ってくると、とてもつかれていると感じるからだ。でも父は、やさしく私達の言っていることに、しっかりとつき合ってくれている。私が勉強で分からない問題があるときは、やさしく、わかりやすく教えてくれる。それは、とても頭が良いと思う。</p> <p>これまで、父はあまりどんな仕事をしているのか知らなかったが、私達の生活にすごく関わっていることが分かった。私は、大人になったら、父みたいな困った人によりそえて、仕事にけん命に向かい、家族に愛されるような大人になりたいなと思った。</p>	

## 【19】

題名	作文と待ち遠しい給料日
本人氏名	嶋田 清奈（しまだ せいな）
性別	女
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>正直、作文を書くなんて「だるい」と思っています。しかも、「お父さんの仕事について」だなんて、いったい何をかけばいいのだ。</p> <p>「書くことは書くけど、お父さんお小遣いはいくらくれるのかなあ？」と聞きました。</p> <p>「千円。給料日になったらな。」とお父さん。</p> <p>「千円かあ、ほんまやね？しゃあないなあ、書くわ」と私。</p> <p>中学生ではまだアルバイトはできません。早く、一日でも早くお小遣いが欲しい。女の子は欲しいものがいっぱいある。でも参観日は来ないし、日曜日でも出勤することが多いし、たまに日曜日に家におっても寝てばかりやし……。大体、いつも無口やし。しゃべっても「うん」とか「ああ」とかしかわへんし。</p> <p>「あっそうや……」</p> <p>榎原のイオンモールに友達と遊びに行った時の事です。もう、ずいぶんと前のことです。ふと気づくと、白い幕の向こうに機械が頭だけ出している工事現場がありました。友達と3人で「何ができるんやろう」「パン屋さんかな」「ケーキ屋さんちゃうか」「マクドとちゃう？」 「高校生になったらアルバイトしたいよなあ」としゃべっていた時でした。</p> <p>白い幕の向こうから「安全第一やって、いつも言ってるやろ。何しとんねん」と大きな声が聞こえました。機械の音さえもかき消すほどの大きな声でした。</p> <p>「えっ……お父さん？」</p> <p>家にいる時の、いつものお父さんとは全然違いました。力強い、大きな声でした。お父さんに叱られたことのない私は「安全第一」という言葉がとても新鮮に聞こえました。</p> <p>「安全第一ということは、お父さんはいつも危険な仕事をしているってこと？」</p> <p>「どうしたん？」と友達に話しかけられましたが、私は黙ってしまいました。</p> <p>家に帰っても、その日のことをお父さんに確かめることはしませんでした。</p> <p>作文を進めるうちに、だんだんと書きたくなってきました。父のことを。</p> <p>父は解体工事の仕事をしています。更地にしない事には新しい建物はできない。解体工事は休日も働かねばならないことを知っていました。ほこりまみれで夜遅くに帰ってくることも知っていました。父の口数が少ないのは、家族のために頑張っている証拠だと思っています。</p> <p>あの時。友達とおった時。正直、少し恥ずかしい気持ちがありました。</p> <p>けれど、今は違います。私は今思っています。</p> <p>父からもらう作文代千円とお小遣いから千円とで。いや、月々のお小遣いをもう少し貯めて、4月にやってくる父の誕生日に、何かプレゼントを贈ろうと。</p>	

## 【20】

題名	ぼくの父は建設マスター
本人氏名	岩淵 涼大（いわぶち りょうた）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>ぼくの父は栗原建設で働いている建設マスターです。現場の工事看板にはいつも父の名前が書いてあって何だか誇らしい気持ちになります。</p> <p>父の仕事は、道路・堤防・下水道・胆沢ダムいろいろな場所でいろいろな工事をしています。なかでもぼくの記憶に残っているのが、岩手県を襲った2回の地震です。父は朝早くから夜遅くまで仕事をし、5ヶ月くらいまともに顔を見る事も話も出来ませんでした。母に「父はいつ帰って来るの」と聞いても「分からない。でもね、お父さんは世の為・人の為に仕事をしているのだよ」と聞かせられた時、父の仕事は、皆の暮らしを守る仕事でもある事を知りました。父の話を知ったら地震の現場は、3回目で阪神大震災にも行ったとの事で地震よ、もう来ないで下さいと思いました。</p> <p>父は、沢山の資格を持っているのに、いろいろな仕事をするために勉強をして資格をどんどん増やしています。ぼくは勉強が嫌いなので偉いなあと思います。</p> <p>父は家でも働き者です。農家をしたり、早く帰って来た時や休みの日にはスポーツをしたり、御飯を作ってくれます。何でも作ってくれますが一番美味しいのはお好み焼きです。みんな大好きなので直ぐになくなってしまいます。また食べたいです。</p> <p>そんな何でも出来る父が大好きです。ぼくの人生のマスターです。</p>	

## 【21】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	白井 亮（しらい あきら）
性別	男
年齢	14
候補者との続柄	子
<p>僕のお父さんは、大工さんです。でも、お父さんの大工という仕事がいまいち分かりませんでした。家を建てる大工さんもいれば、神社やお寺を建てる大工さん、お父さんの様にコンクリートを流し込むための型枠を作る大工さんもいて、たくさん種類があるので中学生になる頃までは良く分かりませんでした。</p> <p>お父さんが、電話で仕事の話をしていても専門用語をバンバン使っていてやっぱりよくわからなあって思う時がよくあります。</p> <p>お父さんは、いつも朝早く家を出ます。朝に弱い僕は絶対にマネをできません。そういう所もさすがだなあと思います。お父さんが仕事から帰ってくると、とても作業服が汚れています。すごく仕事を頑張ってるんだなと思います。</p> <p>お父さんは、たまに仕事が早く終わると、僕とサッカーをしてくれます。疲れて帰ってきているのにサッカーをしてくれて、とても優しいお父さんです。</p> <p>お父さんをたまにめっちゃうざいと思う時もあるけど、仕事を頑張っているお父さんにはとても感謝しています。</p> <p>世の中にはお父さんのような大工さんがいないと道路や橋や建物が建ちません。だから僕はお父さんのことをとても誇りに思います。</p> <p>これからも体に気を付けて仕事を頑張ってほしいと思います。</p>	

## 【22】

題名	私たちのパパ
本人氏名	水澤 杏花・玖京（みずさわ きょうか・くみ）
性別	2人とも女
年齢	14・12
候補者との続柄	子
<p>私たちのパパは、海の上でクレーンを使った仕事をしています。</p> <p>家にいることはあまりなくて、船の中で生活をし北海道や地震のあった東北にも仕事で行くこともあります。</p> <p>船の中には何回か連れてってもらったことがあって中はキッチンやお風呂、部屋の数もたくさんありました。</p> <p>ここでみんなと生活するんだよと聞きました。</p> <p>パパは休みの日でも船の事を気にして現場に見に行ったり、冬は雪が積もりすぎてないか気にしたり、いつも仕事の事を考えて大変そうだなあと思います。</p> <p>私たちが休みの日でも海がなぎると仕事になり、なかなか一緒にお出かけできないけど、みんなの休みが合うとお出かけしたり遊びに行ったりしてとてもうれしいです。疲れて帰ってきても家の事を手伝ったり、おいしい料理も作ってくれます。</p> <p>毎日忙しいと思うけど家族の事も考えてくれるパパが大好きです。</p> <p>これからも体に気を付けて、お仕事を頑張ってほしいと思います。</p> <p>家族みんなでカッコイイパパを応援しています。 お父さんをたまにめっちゃうざいと思う時もあるけど、仕事を頑張っているお父さんにはとても感謝しています。</p> <p>世の中にはお父さんのような大工さんがいないと道路や橋や建物が建ちません。だから僕はお父さんのことをとても誇りに思います。</p> <p>これからも体に気を付けて仕事を頑張ってほしいと思います。</p>	

## 【23】

題名	尊敬する父へ
本人氏名	木原 菜緒（きはら なお）
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>私の父は、井戸・温泉を掘る仕事をしています。といってもどんな内容の仕事をしているのか全く分かりませんが、とても特殊な仕事なのは分かります。</p> <p>なぜ特殊な仕事だと感じたかと言うと、友達と父の話になった時どんな仕事をしているのと聞かれ、私は、井戸や温泉を掘る仕事だと答えると、井戸ってまだ在るのっていつも驚かれます。</p> <p>驚かれる事はとても嬉しいのですが、嫌な事もあります。</p> <p>それは、小さい頃から父とあまり遊んだ事がないので寂しい思いをしていました。なぜなら毎日朝は早く、帰日も遅い日が続く事もありました。</p> <p>出張の時は、数ヶ月父と会えない日々もあったのですが、私が成長していくにつれて母が教えてくれました。</p> <p>お父さんの仕事は、休みたくても中々休めない職種なのと教えてもらってから私は嫌な事だと思っていた事が、感謝や尊敬へと変わりました。</p> <p>お父さん、毎日ありがとう。</p> <p>そして、お父さんが掘った温泉に家族旅行に連れて行ってほしいです。</p> <p>最後になったけど、これからも体や仕事を無理せず頑張ってください。</p>	

## 【24】

題名	お母さんのすごさと建築の仕事
本人氏名	澤口 優平（さわぐち ゆうへい）
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>私は、建築の仕事をしているお母さんはすごいと思う。その理由は2つある。</p> <p>1つ目は、女性であるということだ。私にとって建築の仕事とは、いつもテレビで男性の人が建築の仕事のCMに出ているから、男性の仕事というイメージが強かった。だから私には、女性が建築の仕事につくなんて考えられない。でもお母さんは、いろいろな仕事をしながら家庭内でもがんばってくれていて、女性という壁を乗り越え、岩手県知事賞など、男性と同じくらいかそれ以上の仕事をしている。子供として、私は誇りに思っている。</p> <p>2つ目は、1つの会社にずっと居続けているということだ。私のお母さんは、18歳で今の会社に就職し、この23年間、ずっとこの会社で働いている。このことからわかるのは、お母さんの建築の仕事に対する情熱だ。どんなに遅い時間でも私からみたら楽しそうにパソコンに向かっているのだ。18歳からずっと同じ会社というのは、私にとっては考えられない。普通の人には、23年間もいたら、いやになる時もあるかもしれない。だからやめる人がいると思う。でも、お母さんはやめていない。だから、私にとってはすごいことなのである。</p> <p>私のお母さんは、女性なのにも関わらず、夜遅くまで仕事をしてきている。私は、部活で遠征が多いけど、お母さんは必ずと言っていいほど、忙しいのに送迎をしてきている。送迎だけではない。私が休みの日に、遠くに旅行に連れていってくれたり、外食にたくさんつれていってくれたり、自分の事じゃなく、私のことを優先して考えていてくれる。2人の時間を大事にしてくれているお母さんには、感謝をしているし、誇りにも思っている。そして、そんなお母さんが働く建築の仕事がすばらしいと思っている。</p>	

## 【25】

題名	父さんとはとび職人
本人氏名	當間 萌（とうま めぐみ）
性別	女
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>姉が生まれた日、父は震災後の復興のため神戸で高速道路を造っていたそうです。</p> <p>そして6年後、私が無事に生まれたのを見届けて、翌日から出張へ、とこんな具合で留守にしがちな父は、たまに帰ってくると冗談ばかりいう人です。</p> <p>仕事の話などしないので父の仕事について考えたことなどなく「橋とかを造っているらしい。」という印象でした。</p> <p>でも橋といっても、とても大きくて海の上に架かっているような橋でした。</p> <p>数年前、宮古島と伊良部島をつなぐ伊良部大橋を造っていました。この橋がニュースで取り上げられているのを見て、私は初めて父の仕事に興味を持ちました。そのことを父に話すと、たまたま夏休みだったこともあり、橋に連れて行ってくれました。そのとき私は、こんな長い橋を海の上はどうやって造ったのかという疑問をもつと同時に、父が働く姿を見たいと思いました。理由は、感動したからです。きれいな海もあったから感動も割増されているかもしれません。でも、この見学がきっかけで考え方が変わりました。</p> <p>父は、雪の降る日でも日差しが強い日でも野外で仕事をしています。天気予報で出張先が大雪だったり強風が吹いていたりすると「今、父さんが働いているとこだよ。」と、母が教えてくれます。その度に私だったらと、考えます。考えただけでぞっとしていました。でも父は、それでも当たり前現場に向かいます。うっかりカゼ気味になった時、「気力で治す！」と真顔で言う父の仕事は私たちの生活に欠かせません。</p> <p>最近まで、建築関係の仕事を「大工さん」でひとくくりにしていた私が生意気だとは思いますが、「とび」がいなかったら今よりも困る人は多いと思います。同じように、一つの橋を架けるのに多くの職種、業種の方々が関わっていて、皆で協力してはじめて工程がスムーズに進み、安全に工事を全うできる。そうでなければ伊良部大橋は開通していないでしょう。いまだに伊良部島へは船で行き来していたと思います。</p> <p>父は人の暮らしに役立つ仕事をしています。「伊良部大橋は父さんたちが架けたんだぞ！・・・一部な！」と冗談めかして笑うそんな父を尊敬しています。</p> <p>私の将来の夢は、建築士になることです。それは父の影響が大きいと思います。私自身創ることが、好きです。その中でも建築の魅力は父が教えてくれました。感謝しています。</p> <p>いつか父のように人の暮らしが便利になる建築をしたいです。こんな風にわくわくする夢をもつことができたのも父のおかげです。毎日の生活が当たり前出来る事に感謝して夢の実現に向けて努力していこうと思います。</p>	

## 【26】

題名	父に少しでも近づくために
本人氏名	佐藤 拓斗 (さとう たくと)
性別	男
年齢	15
候補者との続柄	子
<p>私は、父を尊敬しています。その理由は、いくつかあります。</p> <p>一つ目は、私の友達や他の家族の方々と出かけた際に父の会社の人達が工事をしているのを見かけた事がありました。その時の父は、家に居る時と違って真剣な表情で一生懸命に、そして正確な作業をしている姿がとても印象に残りました。その父の姿を見て私も早く父のように一生懸命にそして正確に勉強が出来るようになりたいと思いました。だから私は毎日何事にも一生懸命に取り組む努力をしています。</p> <p>二つ目は、父の持っている資格についてです。私はあまり父の持っている資格について知りませんでした。ある時、友達が父の事を自慢げに言ってきたので私は父に何か資格を持って仕事をしているのかと質問しました。すると私が思っていたよりも多くの資格を持っていました。その資格の数を見て父のようにたくさんの資格を取れるようになりたいと思いました。</p> <p>私は、父のように自分から自慢しないけど皆に尊敬されるような、何事にも一生懸命に行えるだけでなく正確に行えるようになりたいと思います。そして、資格の取得が出来るようにこれからも一生懸命勉強していきたいです。まだまだ未熟な私ですが、このように父の仕事をする姿を見て思ったことを実際に行い、努力することで父に少しでも近づきたいと思っています。</p>	

## 【27】

題名	父の仕事と私の夢
本人氏名	山田 将也 (やまだ まさや)
性別	男
年齢	16
候補者との続柄	子
<p>私の父は造園の仕事をしている。庭を作ったり植木の剪定をしたり、汚れた作業着に地下足袋、腰にはハサミやノコギリをぶら下げて泥だらけに汚れた姿で帰ってそのままお風呂に直行する。とてもきれいな仕事とは言えない印象でした。</p> <p>私が小学生の頃には学校の植木を剪定の作業に来る父の姿を同級生たちに見られるのが恥ずかしくて「学校には来ないでよ」と言ったことも覚えています。</p> <p>父の仕事はそんな現場での作業の他にもお庭のデザインを考えて設計の仕事もしているみたいです。父が言うには、植物により、うるおいのある生活を提供することで心を豊かにしてくれて自分たちが住む地球を大切にすることになると。</p> <p>私は将来は建築士になって建物のデザインや設計をしたいと考えています。</p> <p>将来には私の設計した建物に父が設計する庭で一つの作品が出来れば楽しいなとそんな夢を考えています。</p> <p>父にはこれからも健康に気をつけて大好きな造園の仕事を頑張ってほしいと思います。私も将来の夢に向かって頑張っていきます。</p>	

## 【28】

題名	父から学ぶこと
本人氏名	伊藤 凧々帆 (いとう ななほ)
性別	女
年齢	16
候補者との続柄	子
<p>父は仕事について家庭で多くを語らない。私が知っていることは、朝早くに起きて作業着を着て出ていく姿と、帰ってきてすぐに布団に入って寝ていることだ。その姿から毎日忙しい、大変な仕事だということが仕事内容を話さずとも分かる。</p> <p>私が父の仕事について知ったことは、東日本大震災の時である。我が家は七人家族と被災した親せき家族との生活に不安な日々が続いていた。ただ一人、父だけは復旧のため人のために働いていた。ある程度の復旧後も、震災復興に向けた仕事が続いたそうだが、安全で安心な生活を取り戻すことができた今、父の仕事は人の安全・安心な生活、そして不安な心も守っている仕事だと自分なりに少しではあるが分かったような気がする。</p> <p>私は保育士になりたいと思っている。父のように人のためになる職、そして人間となり社会に貢献できるよう、高校生活を頑張っていきたいです。</p>	

## 【29】

題名	僕から見たお父さん
本人氏名	若月 海斗（わかつき かいと）
性別	男
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>私の父は、私にとってすごく素敵でカッコイイ大工さんです。父は私達家族の為に夏の炎天下の中、汗を流し、冬の寒い季節になると誰よりも気合いを入れ朝早く家を出ます。私は家でも弱音を吐かない父を見て、たくましく強いなと思いました。そんな父を僕は誇りに思います。</p> <p>父はお客様からの要望に何一つ嫌な顔をせず、お客様の希望にそった家を造る為、私達が知らないところで努力をしていたり、熱心にお客様とコミュニケーションを取ったりなど、父は自分がしてもらって嬉しい事を行っています。そんな父を見て、兄は高校を卒業して大工の仕事につきました。小学生の夏から、兄と僕は家で父に仕事について話を聞いたり、実際に邪魔をしないように父の現場に行き、働いている姿を見たりして自分の将来に繋げようと努力をしています。父の背中を小さい頃から見してきた僕達にとって父はとても偉大な人だと思います。お客様からも愛され、一緒に働いている人々達に信頼されている父は本当に自慢できる父です。父の息子に生まれてこられてとても幸せです。きっとこの先も父は大工の仕事に誇りを持ち続け仕事をするとおもいます。そんな父をずっと応援していきたいです。</p>	

## 【30】

題名	僕から見たお父さんの仕事
本人氏名	松本 輝（まつもと ひかる）
性別	男
年齢	17
候補者との続柄	子
<p>お父さんは毎日夜遅くまで仕事をして、日曜日でもお客さんから電話があった時は、食事をしてる最中でも話をしてるのをみると大変な仕事なんだと思います。</p> <p>お父さんは電気工事士としておじいちゃんの二代目として社員をかかえ、この不景気のなか社長として仕事をしているのは大変なことだと思います。</p> <p>電気は目に見えないし、危険な仕事だと思いますが、今の世の中電気がなければ生活は出来ないし、資格が無いと出来ない仕事なのでとても良い職業だと思っています。</p> <p>今は景気が良くないので大手の会社も大変だと思います。逆に小さな会社のほうが地域密着型で、生活として重要な電気を扱える電気工事士の役割は重要ではないかと思います。</p> <p>最近のお父さんは毎日勉強をして宅地建物取引士や消防設備士、ファイナンシャルプランニング技能士などを合格しお客様の為、自分のためにも頑張ってる姿は素晴らしいと思います。</p> <p>電気工事は高いところも登るし、冬は寒く夏は暑いし危険な作業なので今の若い人は電気工事士の職人になる人は少ないようですが、逆に技術を身につけ人が出来ないことをしていけば自分のためにもお客さんのためにも良いことなので、これからは重要な仕事になると思います。</p> <p>僕も電気工事士の資格を取得したので、これから進学もし社会に出ているんな人と交流をし、ゆくゆくはお父さんの仕事をやれば良いなと思っています。</p>	

## 【31】

題名	父の仕事
本人氏名	高橋 輝希 (たかはし てるき)
性別	男
年齢	18
候補者との続柄	子
<p>「お父さんの仕事は？」と、質問されることは日常的に多々ある事だろう。</p> <p>先生や知人とそういった会話の中で、皆さんはその質問に対し如何様に答えるのだろうか。テレビの中のヒーローに憧れていた頃の私であれば、話すことを躊躇っただろう事は想像に難くない。</p> <p>それ程に、当時の私は父の仕事があまり好きではなかった。</p> <p>それはつまり、「カッコ良くない」と子供心にそう感じていたからだ。</p> <p>そしてそれは、今も変わらずに理由のない偏見として私の心に残っている。しかし、その仕事がこの国に対し必要不可欠であり、人の営みがそこにある限り無くなることはない事を、様々な知識を得た私は理解している。</p> <p>その一端となったのが、私が中学校に入りたての頃に見せられた、父が携わって現場で完成し開通した一つの橋であった。規模としてはそこまで大きくはなかったが、父が胸を張って偉そうに話してくるのも理解出来てしまうような、そんな立派な橋であった事を覚えている。</p> <p>今、社会へ足を踏み出そうとしている私は、現実と向き合い進むべき方向を決めなければならない。私は機構システム系の高校に通っているため、進学にせよ就職にせよ進むべき方向は専門技能・技術者という職業に他ならない。</p> <p>そして、その選択に父の影響が無いと言い切るのは、いささか無理があるのも確かである。</p> <p>父の仕事に対する「カッコ良くない」という偏見は、そのまま「縁の下の力持ちも悪くない」と変換され、少なからず私に影響を与えているのだ。一度それを理解してしまえば、技術者という職業を目指すのも無理はないだろう。</p> <p>「お父さんの仕事は？」と、質問される事は日常的に多々ある事だろう。そして、今の私なら胸を張って偉そうに答えることだろう、「土木関係の技能者をしています。」と。</p>	

## 【32】

題名	もっと喋ってもっと聞く！
本人氏名	大川 莉空（おおかわ りく）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子

私は普段、父さんの仕事について父さん本人からあまり聞く事がない。っていうか聞く機会がない程、父さんは家にゆっくり居れるって事がほとんどなくて、週末以外は常に出張状態っていうくらい。小さい頃に比べたら、仕事の内容も変わったのか忙しさが増しちゃって、それで話す機会も減っちゃって。今では話すとしたらほとんど自動車学校についての話か進路の話で、私の事ばかり。申し訳ないなとは思うんだけど、たくさん私の思う事を聞いてくれる上にたくさん意見もくれるから、つついっばい話しちゃう。笑

でもよくよく父さんの仕事について考えたら、父さんの仕事は自分がミスをしなくても部下の人がミスをしただけで仕事の役目上、結果的には父さんが叱られてしまうというイメージがあって、そのイメージがもし合ってるんだしたら、父さんはかなりのストレスとプレッシャーに追われてたりするのかなあと思ったりもする。

家に帰って来た時に、すごい疲れた顔をしてる時がある。どんな仕事してるの？とか、今の状況地味に大変だったりするの？とか、お疲れ様！とか。なんでそんなに疲れたのか気になるし、言いたい言葉もあるのに恥ずかしかったりなんだから、結局いろいろ含めて、おかえり！ってしか口にしないのは私の悪い癖。笑

きっと聞いたら愚痴はたくさん出てくるんだろうなとも思う。悪口じゃなくて愚痴。

たまには聞いてあげようかなって思ったし、この作文を父さんに書いてって頼まれてから、父さんの仕事について何も知らない自分に気付けた。

小さい頃に負けにくいくらい、小さい頃よりもっと、父さんコミュニケーションとろうって思った。

就職してから一度も辞めずに職を変えないで今まで続けてて、まだこれからも続けようとしてる父さんは本当にすごいと思う！

家族で出かけた時に何回か見た、父さんの工事現場の完成形を見て回るのはとてもワクワクしたし感心した。保育園の頃に、安全第一って書いた父さんの作業着を見て、なおさらかっこよく見えたっていう時の記憶がある。それも踏まえて、みんなの安全や命を守るために危険な場所でも命懸けで一生懸命仕事してる父さんもすごいなと思った！おじいちゃんになるまで、愚痴もたまにはこぼしてもらいながらも、今の仕事をずっと頑張っていって欲しいな。

## 【33】

題名	父の仕事
本人氏名	山内 遥香（やまうち はるか）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私の父は、建設業の現場で働いています。でも、私は高校に入るまで、父の仕事に興味がなく、考えたこともありませんでした。</p> <p>そんな私が、父の仕事について知るきっかけになったのが、高校で野球部のマネージャーをしたことでした。毎朝朝練に行くのに朝五時半に家を出なければならなかった私は、なかなか起きられず、遅刻しそうな時が多々ありました。そんな私をいつも助けてくれたのが父でした。毎日仕事で疲れているのに、私よりも早くに起き、何も言わず送り迎えをしてくれ、父と二人でいる時間が増えていきました。その中で、私はふと父に「お父さんの仕事ってどんなことするん」と尋ねました。すると、「工事現場でいろんな仕事をしているみんなに指示したり、現場全体の安全を管理している」とざっくり言われ、私は仕事の内容について具体的なイメージが浮かびませんでした。</p> <p>その日から何日か過ぎた頃、家族で休日に出かけることになりました。ワクワクで早く着かんかなと思っていたのに、父が向かっている場所と違う方向に車を走らせていました。私は思わず「どこ行っとん」と尋ねると、「現場着くで」と、今担当している父の工事現場に連れて行かれたのでびっくりしました。生まれて一度も父の現場を自分の目で見たことがなかった私は、このとき初めて父がどんな所で、どんな仕事をしているのかハッキリ知ることができました。私の隣で父は、「これは法面工事って言って、山が崩れそうな所をそうならんように補強工事しとんや。」と普段は話さない自分の仕事について、楽しそうにくわしく説明してきました。その話を聞きながら、現場の周辺を見ていると、ゴチャゴチャしてそうなのに、現場も事務所の中と周辺もきれいにしてあって、きれい好きな父の性格が仕事場でも出てるなと思いました。</p> <p>その後も、父が新しい現場を持つたび、私に話してきたり、時間があれば現場につれて行かれるので、次はどんな仕事をしているのかなと、楽しくなりました。</p> <p>普段家では、私たちに厳しく怒ってくれる父。仕事場ではもっと厳しいんだろうなと思います。でも、いつも自分よりも人を大切にしている、どんなに大変でも疲れていても家族のために、仕事のために、誰かのために一生懸命になって直向（ひたむ）きに頑張っている父が私にとって誇りです。父の厳しさは父の優しさなんだろうなと思います。一つの現場を任せられ、その中で安全で丁寧な仕事をし、人に指示をし動かす。父だからこその仕事なのだと、私は父の仕事を知り、今そう感じています。</p> <p>これから私も大学へ行き社会人になりますが、父のように何事にも一生懸命に、そして自分の仕事に誇りを持ち、人の役に立てる人を目指して頑張っていきます。</p> <p>お父さんも、体を大事にして、これからも頑張って下さい。</p>	

## 【34】

題名	私の父
本人氏名	高田 達也 (たかだ たつや)
性別	男
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私の兄弟は姉と妹の3人兄弟です。私の父は鋼の橋を作る橋梁特殊工です。仕事の事はあまり話しませんが、川崎市に住んでいるので鋼の橋はよく見ます。</p> <p>自分の小さい時はたまに現場へ兄弟で連れて行ってもらいましたが、その時はドライブ気分だったので、何もよく解りませんでした。最近になって橋や工事現場の近くを通ると、父さんはこんな場所で仕事をしているのだと思うようになりました。昔父は出張ばかりで家にいた記憶があまり有りません。</p> <p>高い場所に架かっている橋や工事現場で作業している、作業員の方を見ると危険な仕事をしているのだと考えさせられました。</p> <p>昔は、なぜこんな危ない仕事や、家にいないのか理解できませんでしたが、地震を体験して、父が神戸の地震の時に、壊れた橋を直しに行った話や、地方に行って新しい橋を架けて近所の方々に感謝された話を聞くとカッコいい仕事で父達がいないと困るのだなと思いました。私は父の仕事で解っている事はこれぐらいですが、これが「私の父」です。</p> <p>いつまでも元気でいてください。本当にありがとう。</p>	

## 【35】

題名	私が尊敬する父
本人氏名	井上 茉都加 (いのうえ まどか)
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私の父は、ビルや商業施設でサッシや建築金物を取り付ける仕事をしています。現場が地方のことも多く、朝は外が暗いうちに家を出て、夜遅くに帰ってきます。夏は強い日差しや大雨の中、冬は吹雪や氷点下の中、とても過酷な状況で体を張って一生懸命働いています。時には手や腕を傷だらけにし、また、立つのがやっとなくらい腰を痛めて帰ってくることもありました。</p> <p>父は、建築の仕事に携わって26年になります。長年働いているのにも関わらず、今なお仕事の幅を広げるために一から勉強し、新たに免許や資格を取っています。私は働きながらも専門職の知識、技術を高め続けている父が理想の社会人であり、尊敬する人です。</p> <p>私は春から大学生になりますが、将来父のような社会人になれるように頑張りたいです。</p> <p>歳を重ねるごとに疲れやすくなったりすると思うけど、決して無理はせず、体調に気をつけて頑張ってください。</p> <p>“パパ、いつも家族のためにありがとう。理想とする社会人でいてくれてありがとう。”</p>	

## 【36】

題名	働く父の背中を見て
本人氏名	鈴木 淳也（すずき じゅんや）
性別	男
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>僕の父は、建設業で働いています。</p> <p>父は毎日、朝早く起きて仕事場に行き、夜遅くまで一生懸命働いて家族の為に頑張っています。</p> <p>そして、休みの日は兄弟の部活の大会や練習試合などを見に来てくれました。</p> <p>父の仕事は、誰にでもできる仕事ではなく、とてもきつい仕事だと知っていました。その背中、兄弟三人よりも小さくなりました。</p> <p>これからも、仕事に無理せず、頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>「何するにも楽しくやりなさい。」をモットーに春から、僕も就職します。</p>	

## 【37】

題名	カレンダー越しの仕事
本人氏名	青木 佑里南（あおき ゆりな）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私が小さい頃に大好きだったカレンダーがあります。それは、父たちの会社が造った庭の写真が載っているカレンダーです。写真の部分だけ素材が違い、取りはずすことが可能で当時の私はその素材が好きでよく取ってもらっていました。また、素材だけではなくきれいな庭の景色に魅せられていて、毎月違う造りをした庭の写真を見るのが楽しみで待ち遠しかったのを覚えています。そのせいか、庭を見るのが好きで、近所を歩いている時や電車に乗っている時などに見える色々な家の庭を眺める事が楽しみだったりします。</p> <p>父の仕事はその庭の持ち主にも周りの人にも見て楽しんでもらう、魅了させる仕事だと私は思っています。庭を造るにあたって、依頼主の意見、要望を聞き、予算を合わせ、その中で沢山の人を魅了させるような庭の造りを設計しなければいけないのは簡単ではないでしょう。しかし、それでもカレンダーにもなる程の数の庭を造っている仕事を私は尊敬し、誇らしく思っています。</p> <p>詳しい仕事内容は知りませんが、小さい頃から見えていたカレンダーからは父たちの思いと努力が沢山詰まっていました。これからも素敵な庭を造ってほしいです。</p>	

## 【38】

題名	父の仕事
本人氏名	島村 龍太郎（しまむら りゅうたろう）
性別	男
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私は今まで父の仕事について詳しく知りませんでした。そこで、今回父の仕事を調べてみようと思いました。</p> <p>父は、私が起きる何時間も前に起きて出かけ、夜遅くに帰ってきます。私は、夜帰ってきた父に仕事の内容を尋ねてみました。すると、パソコンに入っていたCAD図というものを見せてくれました。父は、この図の作成や現場管理などを行っているそうです。CAD図は見ても何を書いているのか全く分からず、とても細かく書かれていて、こんな複雑なものを作っているのかと思いました。</p> <p>次に、実際に父が制作に関わった病院や工場の写真を見てみました。このように仕事の結果が物として残るとやりがいも大きいだらうと思いました。</p> <p>そこで、父に仕事のやりがいは何か聞いてみました。すると父は、「仕事をしていて嬉しいことや大変なことはたくさんあるけど、一番やりがいを感じるのはやっぱり建物が竣工してお客さんに喜んでもらえたときかな。」と言いました。お客さんの声を直接聞くことができるのも父の仕事の良い所だということが分かりました。</p> <p>ここまで父の仕事について聞いてきて、とても難しそうだけど、建物やお客さんの声からやりがいを感じることでできる素晴らしい仕事だと思いました。私もあと数年で仕事をすることになるので、そのときは父のようなやりがいを感じられるような仕事に就きたいと思いました。</p>	

## 【39】

題名	父の制服
本人氏名	木村 志穂（きむら しほ）
性別	女
年齢	19
候補者との続柄	子
<p>私の父は橋梁工事をしています。</p> <p>現場は近くにないので働いている姿を直接見たことはありません。しかし、何度か父が造った橋を通ったことがあります。「この橋、お父さんが何年か前に作ったんだ。」「あっちに見える橋も造ったんだよ。」と自慢げに話していました。自分たちが何ヶ月もかけて造り上げた橋の上を、たくさんの人や車が通るといふ達成感、橋梁工事に携わる人だけが味わえる気持ちだと思います。「お父さんの仕事は地図に残るんだ！」と、誇りを持ってとても嬉しそうに話してくれます。</p> <p>建設業に従事している父の制服は、薄緑色や紺色の作業着です、私は、父の日や誕生日にお洒落なネクタイをプレゼントしたいと思ったことが何度かあります。ですが、綺麗なスーツに身を包んで出かけ、綺麗なスーツで帰宅する父の姿は想像できません。下ろしたての綺麗な作業着で出かけたのに、もかわらず、汚れた作業着で帰ってくる。今日はこの汚れた分働いてきたぞ、という声が聞こえるような顔で「ただいま。」とだけ言って帰宅する父こそが、私の一番自慢できる父の姿です。</p> <p>私も社会人になり、働く事の大変さを身に染みて感じるようになりました。同じ仕事を20年も続けることは、とても難しい事だと思います。私たち家族のために、日が照る真夏日も吹雪の真冬日も屋外で働いてくれる父に感謝をし、自慢の娘になれるよう親孝行をしたいと思っています。</p>	